

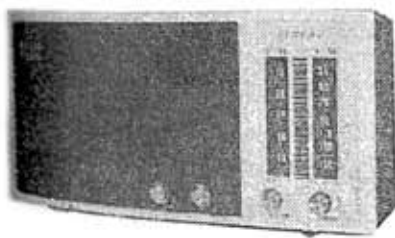
# NEW MERCHANDISE

## 新製品紹介

### FM/AM 用ラジオ・キット

リンカーン電機から売出された、10石の組立てキットで、チューナー部分は組立・調整済みであるから、誰が作ってもハンダづけがしっかりしていて、配線ミスさえなければ、FM/AMとも充分な感度を得られ、分離・音質ともに優れた性能が発揮できる。キャビネットはプラスチックに木目印刷をしたものである。主な規格は下記に示すとおりである。

受信周波数：AM 535~1605kc, FM 75.5~90.5Mc, 感度：AM50dB (300 $\mu$ V/m), FM 14dB (5 $\mu$ V/m, 出力50mW) 出力：最大 1000mW, 無歪800mW, アンテナ：FM 75 $\Omega$  不平衡, AM 7 $\phi$ ×90mm 棒アンテナ(自蔵), スピーカー：12cm 丸型, 電源100V, 7W, 外形寸法：横355×高180×奥行115mm, 重量：2.3kg. 使用トランジスターは **25C-561** ×2, **25A-267** ×3, **25A-30**, **25B-32**, **25B33**, **25B-263** ×2, それにダイオード3個である。現金正価は ¥8,500.



(東京都品川区元辰田7-6-12 Tel: 492-4755) リンカーン電機

### アカイ・コンパクト ST テレコ

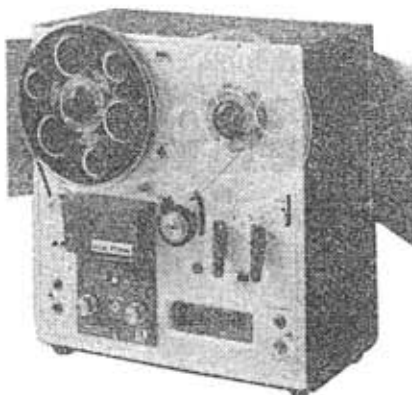
1710W 型は幅345×高360×奥行190mm (15kg) のコンパクト・サイズながら、4トラック・3スピードのステレオ・テープレコーダーである。スピードは3.75, 9.5, 19cm/sec のほかアダプターの使用で 38cm/sec も可能となっている。7型テープ (370m) で最大4時間のステレオ録音が可能である。ヘッドは完全シェルドされて高 S/N 比を得ている。なお内蔵スピーカーは12×18cm 2

個であるが、これと組合わせるスピーカー・システム (大きさは本機とほとんど同じで12cm ハイコンプライアンス・スピーカーが入っている) を別に売っている。このほか、操作の確実な2レバー方式, ST-MONO 切換のトラック・セレクター, オートマチック・シャットオフ, 一時停止レバー, テープ・クリーナー, トーン・コントロールなどがついている。

ワウ・フラッター：0.16% rms 以下, 周波数特性：40~18000c/s (19cm/sec), 40~16000c/s (9.5cm/sec), 歪率：全高調波歪2% 以下(1000c/s 0UV), S/N：50dB 以上, 出力：各 ch とも 4W×2 music power

録音・再生補償特性：NARTB  
早送り・巻戻し：150秒, 370m, 50c/s  
120秒, 370m 60c/s  
録音時間：モノラル8時間  
(4.75cm/sec)

最大使用リール：7型  
ヘッド：録音・再生 (3.5k $\Omega$  1000c/s)  
消去 (2.4k $\Omega$ , 60c)  
使用真空管：5本, トランジスター：4個  
電源：AC100~240V (6段階に切替可能, 50/60c/s 両用 80VA)



(東京都大田区東籠谷2丁目12-14 Tel: 741-1426) 赤井商事 KK

### ナショナルの新製品3種

◎足鍵盤1つの電子オルガン  
手鍵盤は61鍵の1段で、普通のオルガンがひける人なら誰でもできる親しみや

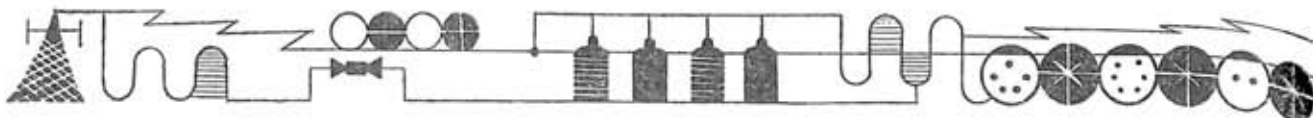
すいものである。そしてメロディ(右手)と伴奏(左手)の音色を自由に変えられるダブルフォニック方式で表現力をゆたかにしている。本機のもっとも大きな特長は、足鍵盤が1個になって、しかも2オクターブ半にわたる従来の足鍵盤の全音域がひけるようになっている。つまり今までのように足先で音階を選択することなく、左手鍵より1~2オクターブ低いベースが響き、また速いバス・ソロもきわめて容易にできるようになっている。これは一種の電子計算機回路によって、左手鍵で演奏中の和音の中から常にその最低音だけを選び出しているからである。

音色は、高音部においてはディアパゾン、フルート、リード、ストリング、マンドリンその他4種、低音部ではディアパゾン、ファゴット、バスその他4種と、いろいろの音の組合わせが作れるようになっている。使用トランジスターは227個、ダイオードは45個、最大出力は30Wである。スピーカーは30cm, 20cm, 8cmの3ウェイ・システムである。消費電力は40W (100V 50/60c/s), サイズは幅1140×高840×奥行530(mm)で、重量は60kgである。またヘッドホーンを使用して静かに練習することもできるし、外部アンプに接続して大ホールで使うことや、直接テープレコーダーに録音することもできる。現金正価は ¥321,000. 椅子は別で ¥6000.

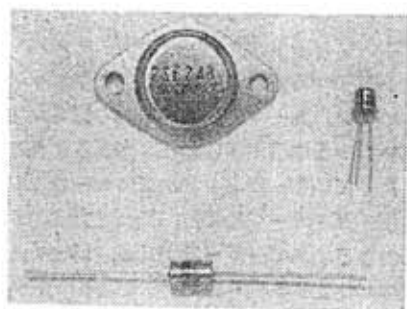


### ◎新型サイリスタなど

電子ミキサー, SCR 溶接機または無線用アンテナ, 電話交換機など、回路切換のソリッドステート化に必要なサイリスターを2種と、そのサイリスター起動用のダイオード1種が新発売となった。電気洗濯機やミキサー, クーラーなどモーターを使う家庭電化製品には一般に2~3段から10段の回転速度切換装置がついている。これをラジオの音量調節のように無段変速できれば大変に便利なので、そのような目的で開発されたものである。写真の上が大電力用の **25F248**



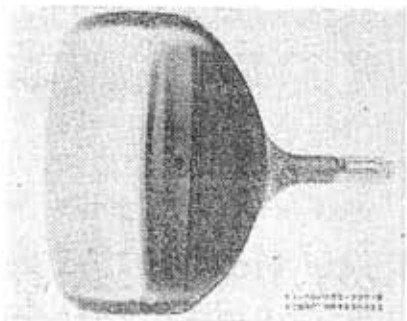
で、定格は 200V 6.4A。小型モーターの回転制御や交通信号灯、小型電気炉の回路切換などの電力制御用である。右は **25F249** で無線用アンテナ回路の切換器や電話交換機のリレー作用など比較的小電力の回路に使用 (150V 100mA) するもの。下がトリガー・ダイオードで **MA60** サイリスター起動用である。いずれもシリコンで作られている。



#### ◎補修用カラー B 管

カラー・テレビは今からはじまりというところだが、同社ではすでに補修需要に処したカラー・ブラウン管16型、19型など4種を発売した。同社の新型セットに使用しているバナカラーB管は希土類赤色蛍光体にユーロビウム活性イットリウム・オキサイドを使用したもので、従来のものより50%も明るくなっている。旧型補修用カラーとともに、他社のほとんどのセットに共用できる。

16型バナカラー	¥38,000
＊旧型カラー	¥38,000
19型バナカラー	¥43,000
＊旧型カラー	¥43,030



(東京都港区芝4丁目8番2号 Tel: 453-3111)  
松下電器産業・報道部

#### トリオの新製品3種

##### ◎AM/FM レシーバー "TW-200"

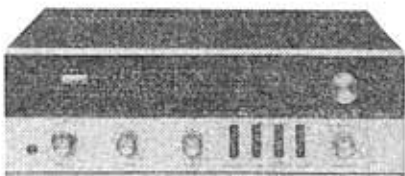
入口から出口まで全部シリコン・トランジスターを使用した ITL SEPP の

準コンプリメンタリー OTL 方式を採用し、イコライザー回路も直結増幅回路を採用しているため、低域における周波数特性がずばぬけてよい。

使用トランジスターは33個(うちFET 1個)、ダイオード29個。チューナー部はもちろん FM-MPX の受信も可能である。受信周波数帯および感度は

FM: 76~90Mc 2.5 $\mu$ V/84Mc  
AM: 520~1610kc 150 $\mu$ V/1000kc  
イメージ・レシオは FM 55dB(84Mc), AM: 45dB(1000kc), FM 周波数特性: 20~20,000c/s ( $\pm 0.5$ dB 以内), S/N比は FM: 60dB 以上 (100%変調, 100 $\mu$ V 入力), AM: 40dB 以上 (30%変調 1mV 入力), FM 歪率: 0.7%以下, FM 周波数ドリフト: 0.02%以下, MPX 部セパレーション: 35dB 以下 (400c/s), 歪率 0.7% 以下, キャリヤー・リーク: -45dB である。

オーディオ・セクションでは、出力はミュージック・パワーで 30W (歪1%, 8 $\Omega$  負荷), 32W (歪1% 4 $\Omega$ )。実効出力は 12W/12W (歪1% 8 $\Omega$ )。周波数特性: 25~40,000c/s ( $\pm 2$ dB), 出力帯域特性: 30~20,000c/s (歪1% 実効出力に対して -3dB の帯域), 歪率は1000c/s にて 0.3% (7W/7W), 0.2% (3W/3W), 0.25% (0.2W/0.2W)。ダンピング・ファクターは20 (8 $\Omega$  にて)。消費電力は無信号時 15W, 最大出力時 55W。サイズは幅360 $\times$ 高120 $\times$ 奥行285 (mm), 重量 7kg。現金正価は¥36,800。



##### ◎小型バルボル "VT-102P"

本器は全ソリッド・ステート化された電子電圧抵抗計である。直流電圧、交流電圧、抵抗測定が3種が行え、電源が AC DC 両用となっているのが特徴である。指示計には高感度・広角度の可動線輪型電流計が使用されているので指示の読み取りが容易である。

電圧測定範囲 (AC, DC とも): 0-1, 3, 10, 30, 100, 300, 1000V の7レンジ  
測定周波数範囲: 20c/s~5Mc  
指示精度: 定格値の $\pm 5\%$  (10~40 $^{\circ}$ C)  
抵抗測定レンジ: 10, 100, 1000, 10k,

100k, 1M, 10M

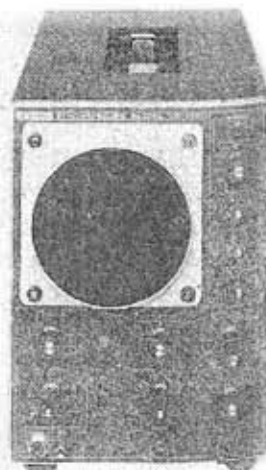
サイズ: 幅150 $\times$ 高215 $\times$ 奥行140 (mm)  
重量: 2.2kg  
定価: ¥18,800。

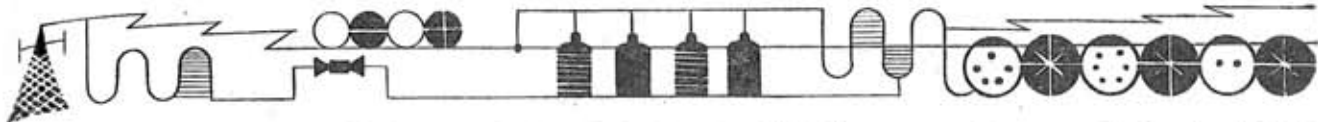


##### ◎普及型シンクロスコープ "CS1551"

本器は直流より 5Mc の周波数帯域をもち、電気機器、電子装置の各種現象の観測、測定を行うものである。特長としては、(1)垂直増幅器の周波数特性が直流より 5Mc である、(2)垂直増幅器が高感度 (偏向感度 0.01V~10V/cm, 7レンジおよび微調)、(3)掃引時間の範囲が 1 $\mu$ sec/cm から 0.3sec/cm と広範囲、(4)掃引幅を5倍に拡大できるから細部の波形を十分観測できる、などである。

垂直増幅器の AC 特性は 2c/s~5Mc (-3dB), 掃引方式はスタート・ストップ方式および自動式、同期の種類は電源内部、外部。同期範囲: 20c/s~5Mc, 水平増幅器の偏向感度は 1V/cm, 周波数特性 DC~250kc (-3dB), 校正電圧 0.3 Vp-p。サイズ: 幅220 $\times$ 高315 $\times$ 奥行45 (mm)。重量: 12kg。定価は ¥70,000。





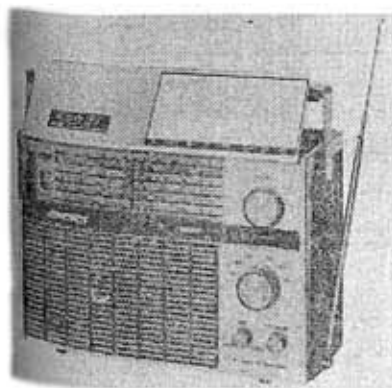
菊水電波 KK

シャープの6バンド・ラジオ

本機 FV-5000 型は、長波 (LW)、中波 (MW)、短波 (SW 3 バンド: 1.6~26.5Mc)、FM (76~90Mc) の一般ラジオ放送のほかに、BFO 回路の採用により、A1 電波 (モールス) も受信できるようにした超デラックスな受信機で、世界中のあらゆる放送が受信できる。FM 回路に使用したメサ型トランジスター 9 石をふくみ、計 18 石のトランジスターに 11 石のダイオードを使っている。電源は電灯線の AC でも DC でも使え、しかも電源自動切替装置つきであるから、電灯線が使用中に突然停電したり、またコンセントが外れても、その瞬間に自動的に電池電源に切替わるようになっている。チューニング・アイによって、きわめて微細な調整ができるほか、暗がりでも遊局できるようダイアル照明用のランプもついている。

受信周波数は LW: 150~370kc, MW: 530~1650kc, SW: 1.6~4.3Mc, SW<sub>2</sub>: 3.9~12.0Mc, SW<sub>3</sub>: 12.0~26.5Mc, FM: 76~90Mc である。

出力は最大 1.2W, 無歪 0.9W, 電源は AC100V (50/60c/s, AC アダプター内蔵, DC 12V (UM-1 8 個)), スピーカー 15×10cm 楕円型, トーン・コントロールは連続可変式, サイズは幅 306×高さ 210×奥行 120 (mm), 重量 4.6kg (電池別), 現金正価 ¥34,800。



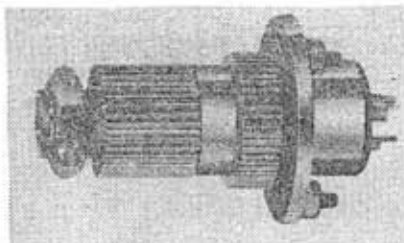
(大阪府 Tel: 621-1221)

早川電機・宣伝部広報係

ミヤマの新製品 2 種

コンセント # 535

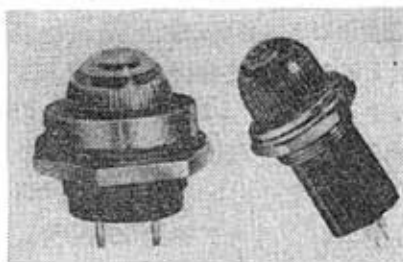
2P, 3P, 4P の 3 種がある。接触抵抗は 10mΩ 以下, 絶縁抵抗は 500V メガーで 100MΩ 以上である。絶縁耐圧は AC 1500V を 1 分間印加しても大丈夫である。取付寸法は 16.5φ (M2.3ビス締め) となっている。



◎パイロット・ランプ #208, #209

写真左が #208 丸型ネオン・パイロット・ランプで、絶縁抵抗 500V で 100MΩ 以上, 耐圧 AC 1000V, 適合電球は E-5 ネオン球, 取付寸法は 18φ, キャップは透明, 透明赤, 透明橙の 3 種がある。

写真右は #209 で、絶縁抵抗は 500V で 100MΩ 以上, 耐圧 AC 1000V, 適合電球 E-10, 取付寸法 16φ, キャップには、赤、白、青、黄、緑のほか上記 #208 と同じ透明色のもある。



(東京都大田区上池上町56 Tel: 720-5151)

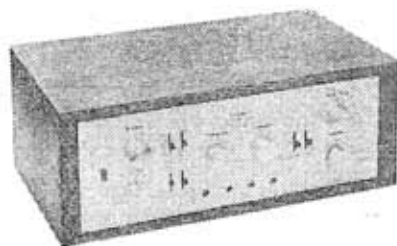
ミヤマ電器 KK

YL のステレオ・コントロール  
ユニット "SCU-33"

オール・シリコン・トランジスターを使ったコントロール・プリアンプで、大型のトランジスターを採用し、電源電圧も 48V と高めて、高利得、高ダイナミック・レンジを確保している。そして 0.1mV から 10mV までのカートリッジを使用でき、なおかつ充分な余裕を残している。回路的にはイコライザー段は 3 段直結回路による C-E 帰還型、トーン・コントロール回路は 3 段直結による C-E 帰還型および CR 型、ターンオーバー、ロールオフ周波数切替式 3dB ス

テップ、 $-\infty \sim +15$ dB スイッチ切替方式となっている。

入力端子は TAPE-HD, PHONO 1, 2, AUX 1, 2, 3, TAPE 1, 2。出力端子は OUTPUT 右, 左 (8V), センター (4V), 録音出力 1, 2 (14V) である。周波数特性は 20c/s~20kc (0~1dB), 高調波歪 0.1% 以内となっている。また出力端子においては L+R のセンター出力端子もそなえている。外形寸法は幅 460×高 160×奥行 260 (mm) である。現金正価は ¥108,000。



(東京都港区西新橋2-34-6 Tel: 434-4537)

YL 音響研究所

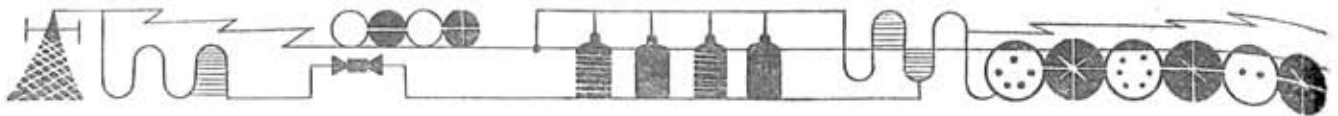
コロムビアの新製品 2 種

◎19 型ファイン・カラー "19CBL7"

オキシサルファイド蛍光体を採用し、またノンレア (無反射) のブラウン管によって明るさが一段と増し、中間色も美しく出るようになった。電子頭脳シンクロピクチャー (自動画質同調) 方式によって、一度ファイン・チューニング・インジケーターで正しく同調をとっておけば、それは自動的に記憶されて、二度目からはどのチャンネルに切替えても正しく調整された画面を見ることが出来る。また、カラー放送、白黒放送、それぞれに適した解像度を得るための自動解像度制御装置 (ARC) もついている。

スピーカーは 17×12cm 楕円型が 2 個、音声出力は 3W である。消費電力は 305



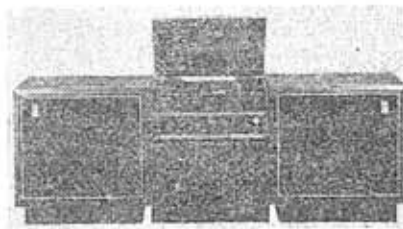


W. 外形寸法は幅900×高720×奥行565mm, 重量は51kgである。現金正価は¥17,500。

◎ステレオ“スタジオマスター S”

正しくは8S20F型で、AM、FM/MPXチューナー付きの電器である。使用トランジスタは30個、ダイオード21個である。最大出力は24W×2である。プレーヤーはベルト・ドライブ方式の2スピード(33 $\frac{1}{3}$ , 45), 4極シンクロナス・モーター, オートリターン, ドリームSW機構つき, 30cmターンテーブル, MM型カートリッジ(デンオン10MM)を使っている。定格出力は12W×2, 入力PU 3mV (1kc), TAPE 0.5V, 消費電力は定格出力時72W, アンプ本体の外形寸法は幅520×高602×奥行345(mm), 重量は20kg(プレーヤーを含む)。

スピーカーは3ウェイ・パスレフ型で20cm×2, 13cm×2, 7.5cm×2となっている。現金正価 ¥89,800。

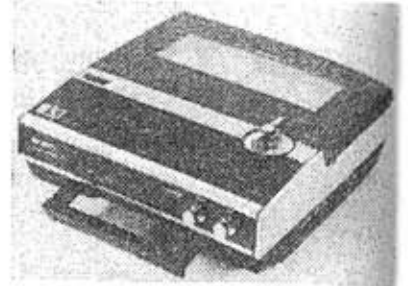


(東京都中央区日本橋4丁目1-1 Tel: 241-7811)  
日本コロムビアKK

ソニーのポータブル・テレコ  
サーボマチック F-1

本機は5型リールをかけたままですべてでき、しかもAC/DC両用のサーボ方式のポータブル・テープレコーダーである。バッテリー・バックを使えば充電も

できるという3電源システム。またサーボモーターを使用しているので負荷変動に対しても回転は安定である。テープ速度は9.5と4.8cm/secでこれをSWで電氣的に切替えることができる。またソニオマチック自動録音方式により録音時のレベル調整のめんどろはない。サイズは幅295×高118×奥行202(mm), 重量は約4kg, 定価は¥23,800。



(東京都品川区北品川6丁目 Tel: 442-5111)  
ソニー KK

3Dメインアンプのつづき

分割フィルター回路

3Dステレオとするための分割フィルター回路は各出力アンプの前段に取りつけてあるとおり、すべて12AX7を用いて、オクターブあたり-18dBの減衰特性の得られる山根式の回路です。クロスオーバー点は160c/sで設計してありますが、第6図の周波数特性が得られました。計算値よりも多少ずれておりますが、使用上さしつかえありません。ただローパス・フィルターのみはC<sub>s</sub>を0.07μFに増して②の特性にしてあります。

このアンプに使用したアルミ・シャーシーは、1.5mm厚で、450×250×65mmの大きなものを使用しております。各パーツの配置図は第7図の通りです。2つのチョーク・トランスは誘導ハム防止のために、各々のコアが直角に向い合うように配置することが必要です。

このアンプに接続されるブリ・アンプは、S/Nの良好な、特にハムの少ないセットを接続しなければなりません。電源トランスの6.3V 2A端子は、ブリ・アンプの初段管(12AX7 2本分)のためのヒーター端子で、DC整流して5.5Vに下げ供給します。

同じSPシステムでもって多極管の出力アンプと、この3極管の出力

アンプとを聞きくらべた場合、音色の違いがはっきり現われました。ダンピングのきいた、さわやかな音色です。まるで他のSPで聞いている感じがしました。やはり3極出力管を使用したかいがわかりました。

ただ、SPシステムで特に注意することは、低音用SPを十分大きなものを使用することです。3Dステレオにしたために低音用SPが1個ですむので、安上りになると考えずに、左右に低音用SPを2個使ったつもりで、その分ですべての口径のSPを1個使用することにより十分に3Dステレオの性能を満喫することができます。できれば低音用ホーンを付けば申し分ありません。

社員募集!

電子楽器の専門メーカー

- ◇職 種……技術サービス, 営業, 経理
- ◇待 遇……当社給与規定に依り優遇 各種保健, 退職制度有
- ◇勤務地……東 京・大 阪
- ◇応 募……履歴書送付, 後日面接日通知 詳細は電話

エース電子工業株式会社

本社 大阪市住吉区御崎町3-163 TEL.06(685)3901(0) / 東京営業所 東京都新宿区戸山町43 日駐ビル TEL.03(203)5751(0)